

西神楽小学校
保護者の皆様

旭川市立西神楽小学校
校長 中谷 扶美子

令和2年度 学校評価について（お礼と報告）

昨年末、標記アンケートを配付し、回収・集計・分析が終了いたしました。（今年度の保護者アンケートの回収率は85%、昨年度は78%）下記のとおり、集計結果と分析について報告いたします。本校では、これらの結果を参考にしながら、次年度の学校運営の計画を推進してまいります。お忙しい中、ご回答いただき、ありがとうございました。

1 保護者アンケートについて

回収率	85%		課題 A：そう思う B：どちらかというと思う C：どちらかというと思わない D：そう思わない					
学校での教育活動と子どもたちの様子	項目	内容	評価(%)					
			A	B	C	D		
1	情報発信	学校は、学校便りや懇談会などで学校の教育目標や指導の方針等について分かりやすく伝えている。	72	26	2	0		
2	保護者との連携	学校は、参観日や保護者懇談会などで、保護者と学校が話し合う機会を適切に設けている。	74	25	2	0		
3	懇談会・通信の分かりやすさ	学校の様子は、懇談会や通信などからよく分かる。	64	31	5	0		
4	学校行事	学校行事は、子どもが個性を発揮し、生き生きと活動できる場になっている。	59	38	2	1		
5	特色ある教育活動	学校は、地域の人材や施設・環境などを活用して、特色ある教育活動を進めている。	56	33	10	0		
6	分かる授業	学校では分かりやすい授業が行われている。	51	44	5	0		
7	児童の指導と評価	学校は、児童の個性を把握・理解しながら、適切な指導や評価を行っている。	56	38	5	1		
8	生き方の指導	学校は、各種行事の取り組みを通して、児童の考えを聞き、入のかかわりや生き方の指導を適切に行っている。	54	33	8	1		
9	生活習慣の育成	学校は、基本的な生活習慣を育成するため、保護者との連携を図っている。	57	38	5	0		
10	安全確保等	学校は、子どもたちの事故防止や安全確保に努めている。	67	26	3	3		
11	適切な生徒指導	学校は、保護者・児童からの相談や生徒指導に、迅速かつ適切に対応している。	61	31	5	0		
12	施設設備	学校の施設・設備は整備されており、学ぶ環境にふさわしいものとなっている。	57	34	7	0		
家庭でのお子さんの様子について	13	学校が楽しみ	お子さんは、学校へ通うのを楽しみにしている。	46	44	7	3	
	14	自主自立	お子さんには、自主自律の心が育ってきている。	43	46	11	0	
	15	表現する力	お子さんの表現力（話したり書いたりする力）は、高まってきている。	46	41	13	0	
	16	考える力	お子さんの様子から、考えの深まりや広がりを感じられる。	39	49	10	1	
	17	思いやる心	お子さんには、まわりを思いやる心が育ってきている。	57	39	2	1	
	18	将来の夢や目標	お子さんは、将来の夢や目標について、ご家庭で話すことがある。	43	36	16	4	
	19	自分のよさの話	お子さんは、自分のよいところについて、ご家庭で話すことがある。	31	38	26	3	
	20	分かった・できたの話	お子さんは、分かったことやできたことについて、ご家庭で話すことがある。	59	39	2	0	
	21	挑戦する力	お子さんは、難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。	20	57	23	0	
	22	地域や社会への貢献	地域や社会をよくするためにできることやすべきことについて、お子さんと話すことがある。	18	48	28	5	
学習・読書時間	項目	内容	評価(%)					
			A	B	C	D	E	F
23	学習時間	学校の授業時間以外に1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。 A:3時間以上 B:2~3時間 C:1~2時間 D:30分~1時間 E:30分以下 F:全くしてない	0	0	25	61	29	2
24	読書時間	お子さんは、家で1日どのくらいの時間、読書をしますか。 A:2時間以上 B:1~2時間 C:30分~1時間 D:10分~30分 E:10分以下 F:全くしてない	0	2	12	35	25	43

【結果分析】

保護者アンケートでは、学校生活・家庭生活の2観点でお答えいただきました。全体的には、A・B評価が多く、概ね高い評価をいただきました。

項目ごとでは、「特色ある教育活動」、「学習時間」、「読書時間」などで課題が見られました。なお、学習時間や読書時間を増やすためのご家庭での工夫についての情報提供をいただくとともに、学校をよりよくするための要望等もいただきました。

【課題の改善策】

□特色ある教育活動：新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて、感染症対策を講じて、地域との連携を深めながら、地域の自然や施設・人材等を積極的に活用し、郷土愛を育む特色のある教育に取り組みます。

□「学習時間」：西神楽

小・中学校「揃えて育つ学習ルール」を踏まえ、学年×10+10（分）を全校児童で実施できるように学校と家庭の共通認識の下で取り組みます。たとえば、年度当初に1日の過ごし方の予定を計画させたり、具体的な目標を決めさせたりするなどして推進します。

□「読書時間」：学校での貸し出し冊数は増加傾向にあることから、家庭での読書習慣を身に付けることができるよう1日10分の読書をきっかけにして取り組ませたり、冊数に着目して「週〇冊以上」、「月〇冊以上」という目標を設定したりすることも有効です。読書は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものとし、人生をより深く生きる力を身に付けていくために欠くことのできないものという認識を学校と家庭で共有して推進します。

【各家庭における学習時間や読書時間を増やすための工夫】（R2年度 保護者アンケート回答より）

☆学習環境づくり

帰宅したらすぐに、自分の部屋で宿題・家庭学習をさせる／あえて何も言わず、やる気のある時に、集中して机に向かって学習させる／親が先生になって寄り添うようにしている。学習の様子は、連絡帳などで担任の先生と共有している／子どもが興味をもったドリルなどを買って取り組ませている など

☆ルールづくり

宿題等の学習を終えないと、スマホやYouTubeを見せない／学習中は、テレビを消し、家族もスマホを見たりしない／次の日の準備や宿題などの学習を終えてから、ゲームをさせる など

☆読書習慣づくり

2週間に1度は、親が図書館から本を借りてきて、子どもの目につくところに置く／兄弟や親も一緒に好きな本を読む／漫画でもよいので、読むことを大切にしている／興味をもった本を図書館で借りたり、興味ある本に絞って読ませたりする／定期的に地域の図書館へ連れて行く など

2 児童アンケートについて

	評 価 項 目	評 価 (%)			
		A	B	C	D
1	あなたは、学校が楽しいですか。	59	36	5	0
2	あなたは、勉強がわかりますか。	40	53	7	0
3	あなたは、家で勉強をしていますか。	34	54	11	2
4	先生は、あなたの話を聞いてくれますか。	80	17	3	0
5	得意になったり、できるようになったこと(学習内容)はありますか。	62	32	5	1
6	自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表していたと思いますか	26	51	20	3
7	調べたことや友達のと比べて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	35	46	18	1
8	誰かの役に立つ人になりたいと思いますか。	73	21	5	1
9	夢や目標に向かって努力しましたか。	44	42	11	2
10	自分には、よいところがあると思いますか。	48	38	4	9
11	得意になったり、できるようになったこと(運動)はありますか。	75	19	4	2
12	難しいことでも失敗を恐れず挑戦していますか。	27	60	12	1
13	地域や社会をよくするためになることは何かを考えることがありますか。	20	45	31	3

【分析結果】

児童アンケートにおいても、全体的には、A・B評価が多く、概ね高い評価となっています。
□肯定的な回答が90%以上の質問項目は次のとおりです。

「あなたは、学校が楽しいですか」／「あなたは勉強がわかりますか」／「先生は、あなたの話を聞いてくれますか」／「得意になったり、できるようになったこと(学習内容・運動)はありますか。」／「誰かの役に立つ人になりたいと思いますか」

□今後に向けて

今後も継続できるよう、児童一人一人を大切に学級経営や、授業の始めにめあて(目標)を示し、授業の最後には学習の振り返りを位置付け、「できた喜び」や「満足感・充実感」を実感させるなどして、次の学習へとつなげることができる授業を今後も継続していきます。

□肯定的な回答が85%以上の質問項目は次のとおりです。

「あなたは、家で勉強をしていますか」／「夢や目標に向かって努力しましたか」／「自分には、よいところがあると思いますか」／「難しいことでも失敗を恐れず挑戦していますか」

【改善策】

学習習慣を生かし、学年に応じた学習時間を確保できるよう促していく。また、夢や目標については、短期的なものや長期的なものに分けるなどして、達成感を自信につなげ、失敗を恐れずに挑戦する意欲を高めます。自己肯定感や自己有用感をもたせるよう認め励ます教育活動を継続します。

□肯定的な回答が80%程度の質問項目は次のとおりです。

「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるように工夫して発表していたと思いますか」／「調べたことや友達のと比べて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」

【改善策】

新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、ソーシャルディスタンス等に配慮した発表場面や対話を段階的に取り入れるなどして、文字数を限定した分かりやすい文にまとめて発表したり、自分と友達のと比べて、考えたことを振り返ったりする場面を位置付けていきます。

□肯定的な回答が70%以下の質問項目は次のとおりです。

「地域や社会をよくするためになることは何かを考えることがありますか」

【改善策】

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、特に、地域との連携した活動が制限されました。本校の学校教育の目標を家庭、地域と共有し、連携・協働して、子どもたちを育む体制を構築し、西神楽小の校区をはじめ、旭川市や北海道などの地域や社会への関心を持たせながら、よりよくするための考えをもたせるなどして、社会とのつながりへの意識を高めます。

3 全国学力・学習状況調査の結果分析

6年生児童を対象として行われた令和2年度の全国学力・学習状況調査については、5月の実施が中止となり、11月に質問紙調査を実施することになりました。自校と北海道の結果を比較することが可能となりましたので、生活習慣・学習習慣等の状況における主な課題点を中心に報告いたします。

なお、本校独自で学力調査（算数・国語）についても実施し、自校での結果分析・考察等を教職員に周知し、課題点を踏まえた授業改善等に取り組んでいるところです。

質問紙調査については、北海道の結果と比較すると、次の質問項目において課題が見られました。

【結果分析】

全71質問項目のうち、北海道との差が大きいものを掲載します。

□肯定的な回答において、北海道との差が10%以上の質問項目は次のとおりです。▲北海道との差

・「携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。」

【守っている・だいたい守っている児童（%）

：北海道 51.1% 西神楽小 35.7% ▲15.4】

・「普段（月～金）、1日当たりどのくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聴いたりしますか。（勉強のためは除く）」

【2時間以上の割合（%）：北海道 56.1% 西神楽小 85.7% ▲29.6】

・「普段（月～金）、1日当たりどのくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯ゲーム、スマートフォンを使ったゲームを含む）」

【2時間以上の割合（%）：北海道 53.0% 西神楽小 78.6% ▲25.6】

・「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）」

【肯定的な回答（%）：北海道 72.1% 西神楽小 57.2% ▲14.9】

・「学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾等を含む）」

【30分以上の割合（%）：北海道 86.9% 西神楽小 57.1% ▲29.8】

・「土曜日・日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾等を含む）」

【1時間以上の割合（%）：北海道 60.7% 西神楽小 35.7% ▲25.0】

・「学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日どのくらいの時間、読書をしますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」

【10分以上の割合（%）：北海道 57.4% 西神楽小 42.8% ▲14.6】

【今後に向けた取組】

テレビやゲームなども含めたメディアへの接触時間（使用する時間）を減らし、適切な学習時間の確保や家族と触れ合う時間の確保、読書をする習慣等への取組を、家庭・PTAと連携・協力しながら推進するとともに、令和3年度については、北海道との差を5%以内に縮小できるよう努めてまいります。

【令和3年度の学校経営に向けて】

新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度に計画していた教育活動や学校行事等は様々な制限の中で実施されてきたことから、令和3年度についても、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、令和2年度に示した重点目標をさらに達成できるよう、次のとおり組織的な取組を重視し、新年度をスタートさせます。

☆教職員一人一人の力量を高め、共通理解をもって学習・生徒指導に当たります。

☆学校の新しい生活様式の中で、質の高い教育活動に推進します。

☆数値的な結果だけでなく、授業において「できた喜び」や「満足感・充実感」を感じ、次の学習への意欲へとつなげることができる授業を継続します。

☆主体的に考え、笑顔で自信あふれる子どもたちの育成を目指します。

☆保護者や地域の皆様との連携を深め、安心して学校に通わせることができるよう、今後もよりよい学校づくりに努めてまいります。

4 保護者からの要望等（保護者アンケートより）

保護者アンケートにおいて、学校をよりよくするためのご意見等を多数いただきました。現在、校内トイレの洋式化や新型コロナウイルス感染症の集中対策期間を踏まえた参観日の中止、西神楽ホテルの会等の地域人材を講師に招いた授業の実施など、要望の実現に努めているところです。

今後も、寄せられたご意見を真摯に受け止め、一つ一つ改善し、教育活動を充実できるよう取り組んでまいります。なお、各要望等について、2月現在での回答を掲載させていただきます。

□地域人材を生かした西神楽地域ならではの教育について

ホテルの会や西神楽公民館などと連携・協働した取組を教育課程に位置付けるなどして、実現できるよう努めます。

□登校時の玄関での密集を避ける取組について

毎朝、複数体制で検温及び健康確認票の確認をするなど、スムーズな入室に努めております。今後ともご家庭での検温及び健康確認票への検温結果の記入へのご協力をお願いいたします。

□運動会の席取りについて

密集等を避けるという観点から、PTA本部役員会の意向を踏まえ、今年度同様に抽選での実施を予定しております。

□登校時間（8：10～20）について

悪天候の影響を踏まえて20分間を確保してほしい旨のご要望がございました。学校としては、登校時間を10分間に設定することで、複数の児童がまとまって登校できるメリットがあることから、防犯や安全面を考慮し、継続いたします。なお、8時20分以降に登校してきた児童についても随時入校させております。

□旧千代ヶ岡小学校に設置された銅像等の移設について

移設費も必要となることから、本校の教育活動に必要な優先すべき設備の整備状況を踏まえて検討いたします。

□担任との個人懇談について

個人懇談週間以外についても保護者及び児童本人との面談は可能です。日程を調整して実施することができますので、ご希望がありましたら、学校にご連絡ください。

□スポーツ等の小中一貫の取組

スポーツ等の小中一貫の取組を充実させるなどして、西神楽地域の魅力を高め、少子化に歯止めをかけたい旨のご意見がありました。本校では、日常の授業や研修等において、小学校と中学校が連携して取り組むことができる体制づくりに努めております。また、スポーツや文化活動については、地域活動との連携により充実を図ることが求められておりますので、学校教育と社会教育の連携のみならず、西神楽地域の特色を生かした取組に学校としても協力していきたいと考えております。

□学校の特色づくりについて

ホテルに関わる学習をはじめ、特色ある教育活動については、地域と連携しながら進めていけるよう努めていきます。地域、保護者の皆様には、学校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、学校と地域で子どもたちを育むという意識を共有することにより、西神楽の特色ある教育活動を推進することができると考えております。

以上となりますが、今後とも、本校教育に温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。学校評価アンケートの報告とさせていただきます。